

理事長から学生諸君に

本年6月28日からの一連の豪雨は、未曾有の被害を我々にもたらしました。被災地にある高専では、人的被害はなかったものの、ライフラインが遮断され、交通網が破壊され、今も授業が再開できていない高専があります。しかし、我々はこの悲惨な災害を克服し、前に歩みを進めて行かなければなりません。決意を新たに様々な問題に挑戦していかねばなりません。

現在、各高専では学生や教職員の安否確認とともに早期の授業再開に向けて、教職員が一丸となって復旧作業に尽力しています。

学生諸君におかれましては、各高専から配信される情報を随時確認し、休講期間中は、多くの苦難の状況を克服し、自分自身に打ち克つための自学自習の時間としていただきたいと思います。

また、学生諸君には、被災地のみならず、被災地以外からも避難所でのボランティア活動などを行っていただき、大変感謝いたしております。被害が甚大で、広範囲であるため復旧・復興は長期時間を要しそうです。被災地では、まさに諸君たちが学んだ技術力を活かし、解決することが求められている課題が多くあります。この困難の時に、力強い人間力を身に付け、社会に貢献するソーシャルドクターとして大きく飛躍しようではありませんか。学生諸君が被災地のためにできることを考え、行動し、その経験を通して人間として、技術者として成長されることを期待しています。

平成30年7月18日

国立高等専門学校機構 理事長 谷口 功